

活かせ阪神・淡路大震災の教訓

—地震火災の被害を少しでも軽減するために—

今回の第7回公開セミナーでは、阪神・淡路大震災において神戸市長田区で懸命の消防活動に従事した経験をお持ちの講師、そしてまた、首都東京における直下地震に備えて地域の自主防災活動の活性化に日々努力している講師のお二人に、自身の経験や教訓、今後の対策への提言などについてお話していただきます。さらに、そのあとフロアを交えて議論したいと考えています。

■ プログラム

- (司会 廣井 悠 東京大学大学院工学系研究科 特任助教)
- 13:30 開会(開場13:00)
- 13:30-14:00 地震火災の被害を少しでも軽減するために
関澤 愛 東京大学大学院工学系研究科 特任教授
- 14:00-14:50 阪神・淡路大震災時の消防活動の教訓を踏まえて
鍵本 敦 神戸市消防局 北須磨出張所長
- 14:50-15:40 東京における地域の防災力向上に係る実践報告
～地域とともに育む総合防災教育を通して～
中野 孝雄 東京消防庁千住消防署 生活安全担当係長
休憩(20分)
- 16:00-17:00 パネルディスカッション
講師3名+野呂雅之氏(朝日新聞社論説委員)
- 17:00 閉会

■ 日時

2010年3月5日(金)13:30-17:00

■ 会場

東京大学山上会館大会議室

■ 参加

定員 講演会100名(懇親会30名)
参加費 無料(懇親会5000円)

■ お問い合わせ

東京大学大学院都市工学専攻

関沢研究室 特任助教 廣井 悠

[http://www.fse.t.u-tokyo.ac.jp/](http://www.fse.t.u-tokyo.ac.jp/index.htm)

[index.htm](http://www.fse.t.u-tokyo.ac.jp/index.htm)

shobo@fse.t.u-tokyo.ac.jp

講演会終了後の懇親会は会場の関係上、事前申込制(定員30名)となります



2010.03.05(金)

13:30-17:00(13:00開場)

東京大学山上会館大会議室